

山やま寺てらの水みず（漆原町）

山やま寺てらの水みずは うまい
山やま寺てらの水みずは うまい
と つたわっている

漆原うるしはらの水みずの出る高たかい所ところには

山やま寺てらといいう余宗よしゅう（禅宗ぜんじゅう）の寺てらと
観音かんのん様さまが何なん十じゅう体たいも あったそそうな

お寺てら参まゐりの人ひとたちは

帳面堂ちやうめんどうで 記帳きちやうをしたととか

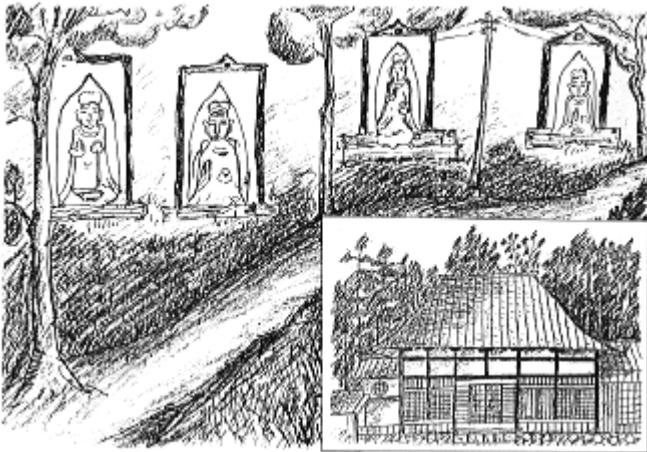
むかし、むかしの言いい伝つたえ

どどれだだけ みんなががおががんだだこととやら

どどれだだけ ううまい水みずををののんだだこととやら

山やま寺てらの「利益りやく」で

水みずがたたくさん出でたといいう



病気で死んでいく人に

「山ん寺の水がほしい」

と言われれば

どんなに 遠い村からでも

どんなに 寒い真冬でも

水をくんできて あげたと言う

水を飲んだ その人は

眠ったように

成仏できると信じられ

うわさは うわさを呼んだとか

水が出る所のお地ぞう様は

和田の石屋へ行っていた人が

行きも帰りも 一休みして

毎日 おいしい水を

飲ませてもらったお礼にと

建てて おくれたそう

せまい街道を ひろげるために

山ん寺は 村国山の

東の谷に移された

漆原の 古老は伝えよう

山ん寺の水は

今もなお わき出ている

